

森議員 それでは、私からは2点質問させていただきます。まず1点目は、近年テレビなどでもよく特集などを組んで取り上げられている「ふるさと納税」に関して。遠く離れたふるさとを応援しようとする人や企業、または各地域の特産品を目当てとした個人の方などから広く寄附金を募り、活気あるふるさとづくりに役立てることを目的として、去る2008年に公布されました「ふるさと納税」制度ですが、現在牟岐町ではこの制度を活用するという段階にまでは至っていないように思います。高齢化が進む牟岐町では、年々働き手も減り、町全体の納税額も減る一途をたどっていますが、この制度をうまく活用することができれば、町外に住んでいる方からの寄附を望めるだけではなく、牟岐町の特産品のアピールにもつながります。勢力的な地域では、この制度を使ってさまざまな取り組みをしています。現在、牟岐町ではこういった形でこの制度に取り組んでいるのか、その取り組みを起こしてから近年の納税額の推移はどうなっているのかと、その使い道を。また、今後この制度を利用したり取り組みをどうしていくのかなどお答えください。もう1点は、国道及び県・町道沿いの美化について質問します。国道は国、県道は県、町道、農道は町が維持管理を担っていますが、昨今道路沿いには草がおい茂っていて、場所によってはガードレールが覆い隠されていたり、歩道の歩行が困難になっているような箇所が目立ちます。国道55号線は昔から遍路道として多くのお遍路さんが歩いてこられた道で、近年増加している外国人観光客ともあいまって、国内のお遍路さん人口もさらに増えています。実際に道で目にするお遍路さんもここ数年かなり多くなっているようにも感じますが、このような方達が現在のこの状態の道を歩き、どんな感想を抱くでしょうか。県南は薬王寺以降、高知県の室戸まで札所が無く、つぎへ札所が遠い分、余計に道々の印象が心に残るでしょう。これは町だけの問題ではなく、県全体へのマイナスイメージにもつながるかと思います。また、問題はこういった景観面だけではなく、毒虫、毒蛇等の危険性が高まるちょうどこの時期は、安全面の方でも大きな問題を抱えています。過去にも実際に被害に遭われた方もおり、町道、農道などは地域の方々が協力して草刈りなど行ってきましたが、こちらも高齢化のため人手が少なくなっており、地域によっては手が回らなくなっている所もあります。こういった点から早急な対応が必要な案件だと思いますので、是非とも今後の具体的な対応策や予定していることがあればお聞かせください。以上、2点についてご回答をお願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 森議員のご質問にお答えします。まず、ふるさと納税から申し上げます。同制度は、総務省の地方活性化策の目玉として、平成20年度から取り組んでいる事業でございしますが、平成27年からは、「ふるさと納税枠」が約2倍に拡充されること、あるいは、「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設されるなど、さらに使い易い制度としてPRされています。牟岐町といたしても、町のHPでPRしたり、近畿牟岐会などで紹介する等の取り組みをしており、お礼として、町の特産品をお返しなどしていますが、他の市町村の地元産品の販売合戦のような取り組みと比べると、大分、大人しい気もいたしています。総務省も、現在の自治体の贈答品の額が過ぎるのをご指摘もあるようですが、ふるさと納税のポータルサイトなどを見ても、楽天のネットショップと見まがうほどのPRがされています。このようなことから、今後、牟岐町としても、一定の節度は持ちながらも、地元産品のお礼をする等の積極的なPRを行いながら、ふるさと納税の推進と、地元産品のPRを促進して参りたいと考えています。つぎに国道等の美化についてお答えします。実は、私も、草が生え茂る国道を、お遍路さんが歩いていく姿を見るに見かね、2年ほど前、国土交通省徳島河川国道事務所に要請に参りましたが、残念ながら予算が非常に厳しいとのお答えでした。議員ご指摘のとおり、平成21、22年までは、必要な国道管理費があり、草刈りができていたとのことですが、平成23年頃から大幅に管理費を削減され、現在もその状態が続いているとのこと。地方創生のためにも、四国八十八箇所の世界文化遺産登録に向けた取り組みも進められていますので、旅行者が訪れても恥ずかしくないよう、まずは、幹線道路の維持管理から適切に行っていくよう、今後とも、機会を捉え、国等に要望して参りたいと考えています。

枅富議長 仁田総務課長。

仁田総務課長 それでは、森議員のご質問の中でふるさと納税につきまして、町長の答弁の補足をさせていただきます。ふるさと応援寄附金の実績ですが、平成20年度から寄付を受けています。平成20年度は6件、570千円でした。21年度は4件、270千円、22年度が4件、405千円、23年度は6件、705千円、24年度は5件、312千円、25年度は7件、402千円、26年度は11件、747千円で、これまでの総額が3,411千円となっています。この寄付金の充当先ですけれども、平成21年度に小中学校の消火器の購入に330千円、うみの木の絵本の発刊に100千円を充当させていただいています。また、平成24年度には小学校の備品に1,230千円、保育園の備品に410千円を充当させていただきました。これまでに合わせて2,070千円を充当ということです。それと、ご質問の中でのお礼の品物ですが、25年に寄付頂いたかた以降ですが、町の産品3千円程度のものと町長のお礼状を添えてお送りをさせていただいています。

枅富議長 寒葉建設課長。

寒葉建設課長 私の方からは、森議員さんの国道及び県道・町道などの道路沿いの美化についてのご質問につきまして、町長答弁の補足といたしまして、お答えをいたします。それぞれの道路の維持管理の状況につきましては、まず国道につきましては、国の維持管理基準に基づきまして、基本的には、年1回の頻度で実施しているということですが、特に安全対策上必要な箇所につきましては、適時実施しているということをお聞きしています。それから、県道につきましては、県道日和佐牟岐線につきましては、年2回除草を実施しまして、牟岐海南線につきましては、年1回と抜根除草を1回実施しているということで、一部区間につきましては、県直営で2回草刈りを実施しているという現状です。町道につきましては、草刈りを直営にて路線ごとに交通量の多い路線より年1回から3回実施しているという状況です。それから、議員さんの質問にありました農道につきましては、関係者、受益者が主ということをお願いしているというような状況に至っています。今後の予定につきましては、日和佐国道管内の除草予定につきましては、7月から11月で草の繁茂状況を見極め安全上緊急性の高い箇所より行う予定とお聞きしているところです。県道につきましては、1回目は7月まで2回目につきましては12月までの間に実施を予定しているということをお聞きしています。町道につきましては、交通量の多い町道より優先し、既に5月から10月にかけて実施しているところですが、全ての町道を草刈り実施するのには現実には至っていません。特に道路、河川も含めてですが、場所によっては地域の方々に草刈りを実施していただいているというような状況となっています。今後につきましては、国、県も同じと思いますが、アドプト事業、あるいは、ボランティア等での対応を含めて効率的な維持管理を考えて対応していきたいというふうに考えているところです。

枅富議長 森議員。

森議員 再質問させていただきます。国道ですけれども、昨年度は見た限り、今の説明では年1回ぐらいとなっていますけれども、ここ昨年度見ても殆どそういう清掃、草刈がされていないと、道路際にあるサツキを見ても草の中にサツキがあるような感じもするので、この特に国道沿い全て徳島までの間が殆ど清掃されていない。各町あげて町から県、国の方に要望すると。町単でなしに、美波町、海陽町すべて含めて町から要望してもらって景観面は特にハミ等の問題もあるし、また、景観面もあるので、そういう要望をしていただいて、なるべく美しい道路、町を目指して欲しいと思います。